

高島市議会議員役員名簿

市議会の会派構成に変更があったため、各委員会の所属変更が行われました。
8月31日現在の役員は次のとおりです。

平成22年8月31日選任

議長	清水 日出夫
副議長	大西 勝巳
監査委員	駒井 芳彦

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務常任委員会 (定数8人)	宮内 英明	八田 吉喜	橋本 恒夫
			駒井 芳彦
			栗津 まり
文教福祉常任委員会 (定数7人)	石田 哲	秋永 安次	清水 日出夫
			万木 豊
			福井 節子
産業建設常任委員会 (定数8人)	森脇 徹	廣本 昌久	梅村 彦一
			大西 勝巳
			渡邊 近治
予算常任委員会 (定数19人)	梅村 彦一	大日 翼	前川 勉
			八田 吉喜
			議長を除く全議員

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会 (定数10人以内)	橋本 恒夫	山川 恒雄	宮内 英明
			石田 哲
			梅村 彦一
			駒井 芳彦
			栗津 まり
			森脇 徹
			小島 洋祐

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会広報特別委員会 (定数6人)	万木 豊	福井 節子	大日 翼
			廣本 昌久
饗庭野基地特別委員会 (定数6人)	前川 勉	大日 翼	石田 哲
			小島 洋祐
交通対策特別委員会 (定数6人)	渡邊 近治	小島 洋祐	栗津 まり
			山川 恒雄
決算特別委員会 (定数18人)	梅村 彦一	大日 翼	駒井 芳彦
			秋永 安次
			森脇 徹
			八田 吉喜
			澤本 長俊
			万木 豊
			議長・議会選出監査委員を除く全議員

高島市のごみ処理対策について



廣本 昌久 議員

市民協働のまちづくりについて



秋永 安次 議員

問 年間のごみ排出量の7割が可燃ごみで、その内6割が資源ごみになる紙類であり、可燃ごみの減量化を目的とした取り組みが必要である。

答 可燃ごみ削減に対して、どのように取り組むのか。また、資源ごみの回収に古紙回収業者との連携や、生ごみを削減するための料理講習会、生ごみの堆肥づくり講習会等が出来るか。

市民環境部長

市民皆さんとの協働によるごみ処理対策を!!

市のごみ処理は、長期的視点に立ち「環境に優しい循環型社会づくり」を方針とした基本計画に基づき、毎年、ごみの排出抑制、再生

利用の推進、収集、運搬、処分等の実施計画を定め、これら施策の推進を図っています。来年度は、本計画を見直す中間年であることから、ごみ分別の目標値設定や更なる資源ごみ回収を研究し、環境学習会などを通じ、市民の皆様との協働によるごみ処理対策に努めます。

問 先日破砕機が壊れ、炉の耐用年数も早ければ7年、炉を冷やす水も水不足により1日50トン足りないが、どのように考えているのか。また、ごみ処理施設の将来を考えた時、余熱を利

用した施設との併合および設置場所を共に考える必要があると思うが如何か。
答 ごみ処理施設は、市民生活に直接影響することから安定した稼働が不可欠です。現施設の稼働実績などの検証と更なる効率性、利便性や余熱利用を含め、延命或いは更新計画を研究してまいります。



環境センターへ搬入される資源ごみ

問 仮称「地域活動活性化事業補助金」については地域力、地域連帯感、コミニティの醸成を図る上で時機を得た制度である。私は地域活動活性化事業と市民協働事業とは関連があり、まちづくりにおいての根幹をなすものだと思える。市が目指す「市民協働の理念」について伺う。

市民環境部長

市民と行政の信頼関係を深めます

市民の主體的な活動は、新たな公共の担い手として大きな戦力です。市民と行政が地域の将来や課題を共に考え、力を持ち寄って解決していく「協働型のまちづくり」を進めるため、市民と行政の信

頼関係を深め、その創意に満ちたエネルギーを引き出し、育み、繋ぎ、補完し合う仕組みづくりに努めます。

地域自主防災組織と住民意識について

市民の生命・財産を守るために「高島市地域防災計画」が定められているが、以下の点について伺う。

各ハザードマップによる市民への周知、指導等の取り組みについて。

政策部長

地域ごとの想定震度や広域避難所の表示とともに、日頃からの備えや心構えについてお知らせしています。

問 自主防災組織への加入状況、災害時を想定した地域住民相互の安否確認の指導は万全か。

答 自主防災組織は、市内80%で結成されており、防災訓練等を通じて、地域が連携して訓練を実施されています。引き続き、未組織地域を中心に、防災危機意識を高める出前講座を実施していきます。



住民参加の防災訓練